

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県那智勝浦町 温泉病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	ド透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
13,468	9,261	第2種該当	-	10：1

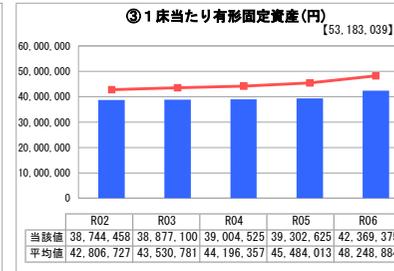
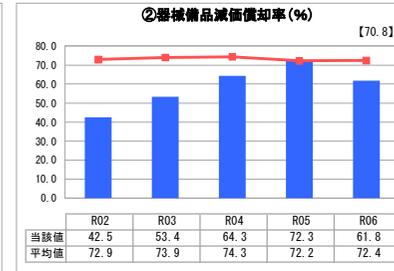
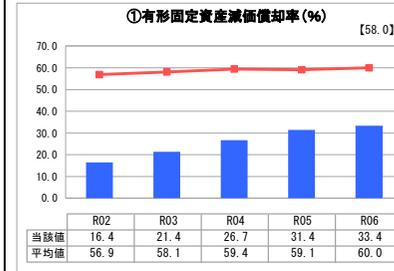
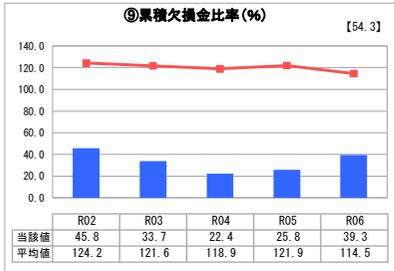
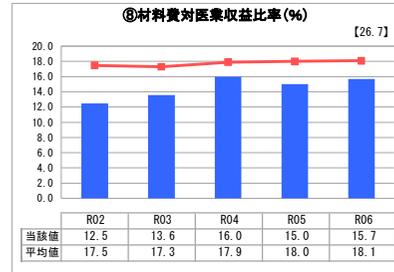
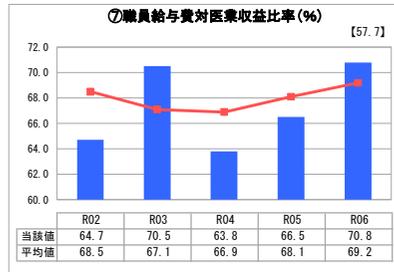
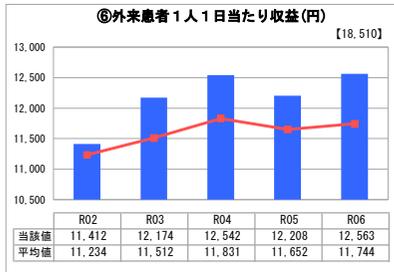
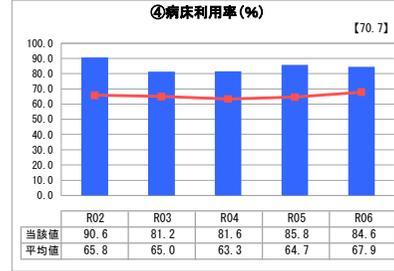
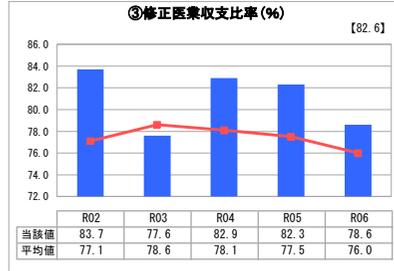
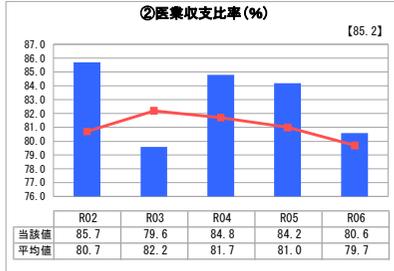
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
120	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	120
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
120	-	120

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は、新宮保健医療圏の拠点病院である新宮市立医療センターの連携病院として、救急医療を提供できる診療体制を維持している。特に、急性期以降のステージを受け持つリハビリテーション拠点病院である。
また、県の災害支援病院に指定されており、災害拠点病院を支援する機能を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益面では、医師不足や、人口減少、コロナ5類移行による診療離れ等の影響もあり、病床利用率が伸び悩み、前年度比で減となり収益減少となった。
一方で費用面では、直近の診療報酬改定を上回る物価高騰・給与改定の影響により経常収支比率や職員給与対医療収益比率・材料費対医療収益比率などの指数が軒並み悪化となった。
以上より、今年度は前年度を上回る赤字計上となり、結果、累積欠損金比率を高める結果となった。

2. 老朽化の状況について

新病院を開設した平成30年度を機に、減価償却に係る各指標は改善し、上昇に転じている。医療機器については電子カルテシステムを更新したことにより、今年度の償却率は前年度比で低下している。

全体総括

コロナの5類移行後も院内感染発生時等の状況は変わらず、経営の健全性の面でも触れたとおり、医師不足や診療離れ等の影響もあって、病床利用率は伸び悩んでおり、入院収益回復の鈍化につながっている。一方で、費用面の伸びは、物価・委託費・人件費において著しく、経営を圧迫しており、社会情勢から今後この傾向が続くものと見られ、苦しい経営が続くと予想される。
また、医療収益の要である常勤医師の確保は、最重要課題であるため、和歌山県立医科大学等との連携をさらに深め、定着化を目指す。
大型医療機器については、今後数年間で更新のピークを迎えるが、町の財政支援を仰ぎつつ、適切に更新を行い、医療提供体制の維持・充実に努める。

※ 1類似病院平均値（平均値）Jについては、病院区分及び類似区分に基づき算出している。